

みどりの風

山口県自然観察指導員協議会 会誌

山口自然観察会 No.106

2020年 4月(春号)



私たちは地球生命体の永遠なるいのちを願って活動しています

今後の会議の予定

第3回役員会 日 時 令和2年5月31日(日) 10時～下松市中央公民館

第4回役員会 日 時 令和2年9月6日(日) 10時～秋吉台青少年自然の家

自然観察指導員講習会

日 時 令和2年9月19日(土)～20日(日)

場 所 秋吉台青少年自然の家

表紙説明

サンベサワアザミ 三瓶沢薊

三瓶山の名を冠する唯一の植物です。10月頃、俯くような花をつけます。三瓶山周辺の畦などで多く見られます。

島根県立三瓶自然館サヒメル

学芸課 企画幹 星野 由美子氏より

【お知らせ】

2020年(令和2年)4月16日

三瓶自然館サヒメル リニューアルオープン !

【紹介】名水百選・美祢市弁天池の湧水に生息する
タンスイベニマダラ *Hildenbrandia rivularis* (Liebmann)

第3支部 増野和幸

毎年、夏がやってくと一度は足を運び、ニジマス料理を食すのを楽しみにしています。美祢市秋芳町別府にある弁天池、隣接するニジマスの養殖場（最近ではチョウザメの養殖も取り組まれています）では、釣り堀もあります。

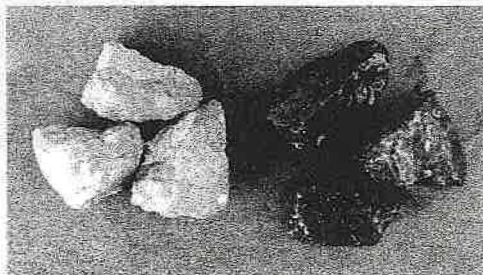
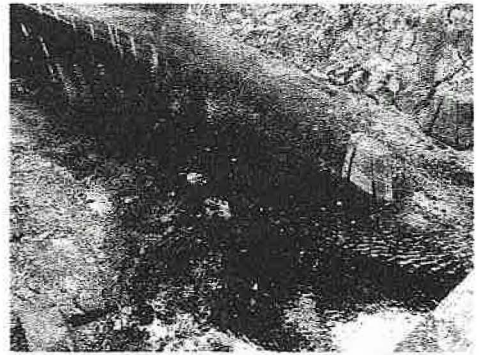
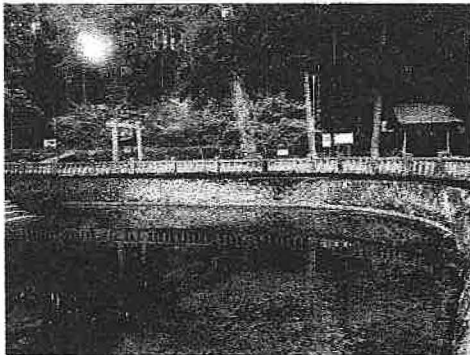
さて、ご紹介したいのは、コバルトブルーに澄み渡る湧水（弁天池）は、環境省が選定する名水百選の一つです。日頃でも多くの方が、ペットボトルやタンクを携えて、水くみに訪れています。この水でお茶やコーヒーを淹かせば、さぞかし美味しくいただけるでしょう。実は、この弁天池の水は、池の底から湧き出ているのですが、この水が流れ出る小川の底は、見事に赤さびがかった赤銅色の小石で敷き詰められています。最初、この状況を見た時は、「鉄分のサビが流れて出ているのか」と思いました。ところがこれは自然の生き物の姿だったのです。池のそばに立てられたジオパークの解説看板を見て驚きました。皆さんの中には、既にご存じの方も多いのではないかと思います。

この赤みがかった生物は、苔のように見えますが、コケではなく、藻類の一種淡水生のベニマダラというものです。清流に生息するそうですが、環境省の準滅危惧種にも指定されています。インターネットでその詳細を調べ、生態に感動しました。

このベニマダラは、通常の緑色の植物が日光を利用して光合成をしますが、その際に木々の葉の間からこぼれ落ちた残りの光を利用して、光合成をしているのです。そのおこぼれの光を吸収するために赤みがかった色をしているのです。利用する光、吸収する光の色（波長）が異なっているのです。まさに人知れず健気に生きている藻類なのです。

この藻類、乾燥すると鮮やかなピンク色になります。これは、私が調査をしているチリメンカワニナ（カワニナの種類ですが、殻表面に強い縦肋があります。）を、たまたまその流水の底砂から採集した時に、カワニナが小型のため、底砂と一緒に持ち帰り、気がついたものです。何気なく持ち帰った小石にも、表面にベニマダラが生育していたのです。

県内のほかの地域にも生育はしているでしょうが、是非、弁天池を訪れた際にはご覧になったらと思います。名水とともにいつまでの残って欲しい自然の一つです。



(左：乾燥後の小石
右：乾燥前の小石)

寂地山・小五郎山の保全活動及び植生調査のお誘い

山口県自然観察指導員協議会

定点観測を行っている寂地山縦走路と小五郎山金山谷ルート(登山道)の点検整備と植生調査を下記の要領で行います。点検整備を行って、植物(カタクリ等)観察のシーズンを迎えたいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。

○ 寂地山

日 時 4月19日(日) 9:00～16:00

集 合 9:00 寂地峡入口駐車場

※緑のスタッフジャンパー目印

予備日 4月20日(月) 9:00～16:00

○ 小五郎山

日 時 5月3日(日) 8:00～17:00

集 合 8:00 錦川清流線錦町駅

※緑のスタッフジャンパー目印

予備日 5月4日(月) 8:00～17:00

持参物 弁当、お茶、タオル、軍手、雨具、のこぎり、鎌

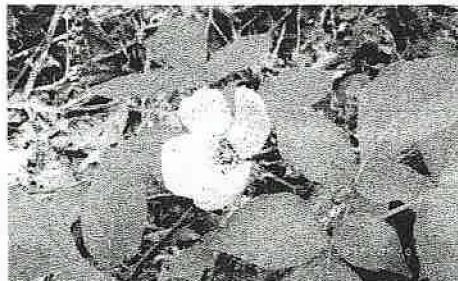
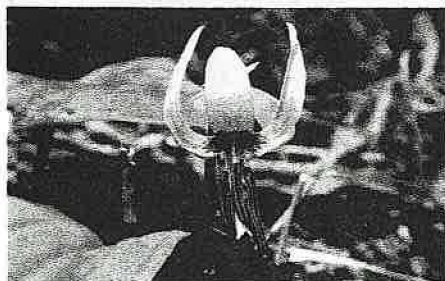
注意事項

- ・保険の対応は各自でお願いします。
- ・参加希望者は、前日までに下記へ連絡ください。

(当日、飛び入り参加も歓迎!)

※連絡先 大田 Tel・fax 0833-46-0103

携 帯 090-1189-8769



第3支部 4・8月行事案内(参加者募集) *参加希望者は事前連絡を。

○期日：4月12日(日) エヒメアヤメ観察会 ○観察場所：防府市西浦エヒメアヤメ自
生地 ○集合時間：10:00 現地駐車場

*この期間中だけの一般公開です。是非、貴重な植物の観察
にご一緒しましょう！(増野 090-8997-3368)

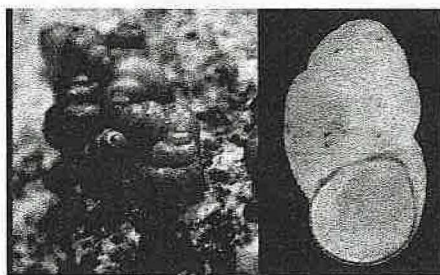
(紹介) エヒメアヤメはアヤメの仲間、草丈は低く、4月上旬
に青紫色の可憐な花を咲かせます。自生している場所は小高い
丘の少し乾いた北向きの土地で、ササ、ススキなど一緒に生育
しています。光を好む植物です。また、中国や朝鮮半島などの
寒い地方に多い植物で、昔、日本が寒かった頃に生育していた
ものが、今も残って生き続けているのです。(山口県・山口県
の文化財 HPを参考)



○期日：6月21日(日) かたつむり観察会 ○観察場所：秋吉台・別府弁天池周辺
○集合時間：9:15 秋吉台エコミュージアム

*午前中は、エコミュージアム主催の親子観察会
と合同開催、昼食後、別府弁天池付近での独自観
察会の予定です。午後3時前には解散予定です。

(紹介) 石灰岩地帯は、かたつむりにとって種
類・生息数ともに多くを観察することができます。
石灰岩地特産のベニゴマオカタニシや、草原を好
むキュウシュウシロマイマイが観察できます。ま
た、淡水にすむアキヨシホラアナミジンナやチ
リメンカワニナなども手に取ることができます。(写真左：ベニゴマオカタニシ、



右：アキヨシホラアナミジンナ

第3支部行事 野鳥観察会の報告 2/9(日) 於：きらら浜自然観察公園

冬の野鳥観察会を、きらら浜自然観察公園の行事「バードウォッチング入門～冬の小鳥
を観察しよう～」に、ジョイントする形で実施しました。当日は、風の冷たい冬らしい天
気でした。30名近くの親子や大人の皆さんが参加されていました。今回はカモ類の観察会
ではなく、冬に観察できる小鳥にスポットをあてた観察会でした。最初に、指導員から観
察できる小鳥の説明を受けた後、野外に出て、観察路を歩きながら約90分間の観察でし
た。双眼鏡をのぞいて、周囲に気を配りながら木の実をついばんだり、落ち葉の下の虫を
探したりする姿に、寒さを忘れて観察しました。メ
ジロ、ヒヨ、ジョウビタキ、シギ、ツグミ、シロハ
ラ、コチョウゲンボウといった種類が観察できまし
た。参加者の中には、観察会に日常的に参加してい
る人も多く、一度きりの観察では、本当の意味での
野鳥観察にはならないな、と感じました。抜けた羽
を熱心に集める小学生がいたりして、楽しく和やか
な観察会でした。支部会員の参加者は3人でした。



屋久島 宮ノ浦岳～縄文杉縦走

第6支部 永井要明

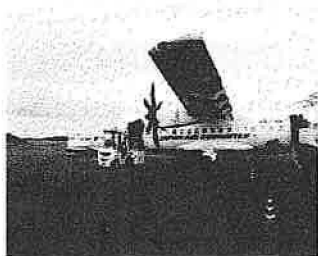
2019年8月30日(金)、北浦自然観察会8名は9:00頃、萩市中央公園をバスが出発した。途中更に2人を乗せて合計10名で福岡空港に向かった。バスには北浦自然観察会以外の人が3名いた。私たちは福岡空港へ5000円で行ける近鉄タクシーを利用するつもりだったが、乗客が多かったのでバスになったみたいである。

福岡空港 13:05 発の JAC(日本エア・コンピュータ・航空)のプロペラ機で屋久島へ向かった。窓の外にはプロペラが見える。機内はジェット機に比べてかなり狭い(下中)。



プロペラ機は高度 3000m

から 5000m位の所を飛ぶ。ジェット機が 1 万m位の高さを飛ぶのに比べてかなり低い。お陰で地上の川や道路がよく見える(上右)。14:15 に屋久島空港に着く予定だったが、出発が遅れたこともあって 10 分ばかり遅れて到着した(左下)。



屋久島空港はとても小じんまりしている。

空港の近くのあるトヨタレンタカーで予約していたレンタカー2台を借りて屋久島の一番北にある志戸子のガジュマル公園に行った。入るとすぐにアコウが有った。気根が出る植物なので根が沢山ある(上中)。

間もなくガジュマルが出てくる。気根は更に多い(上右)。



ここで記念写真を撮った

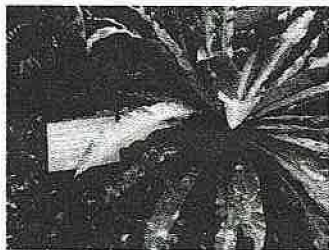
(上左)。少し先に行くとクワズイモの花が咲いていた (上中)。

このガジュマル公園には今回で3度来たが、クワズイモの花は今回始めてみた。クワズイモは食べられないのでこの名が付いた。

アオノクマタケランの実がなっていた (上右)。私が過去2回ここに来ているが、5月と6月で実のなる時期ではなかったので、こんな実がなるのかと思った。その右は木の根のトンネルだ。(右)



次はウラジロフジウツギ (下左)。その次はモクタチバナ。(下右)



次はオオタニワタリというシダである。葉の長さは約1m (下左)。

最後にショウベンノキが出てきた。3枚の葉が一組になって

いる (下右)。ミツバウツギ科の植物である。名は小便の木で、春先枝を切ると、切り口から樹液が多く出ることによる (日本の野生植物 木本Ⅱ 平凡社)。



ガジュマル

公園を出ると砂浜があり。珊瑚の死骸となる石が沢山ある。そこにハマユウの実がなっていた (次ページ左上)。

この日の観察はここで終わり、山岳太郎という登山グッズを売る店に立ち寄り、買い物



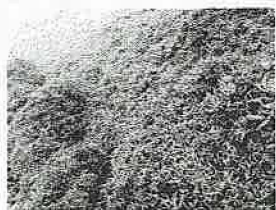
をしたり寝袋を借りたりした。スーパーマーケットにも寄り、パンやカップ麺など次の日からの食料をを買って宿舎の屋久島グリーンホテルに帰った。

翌日(31日)は6時にホテルを出発した。タクシー2台(1台はジャンボタクシー)で雨の降る中を淀川登山口に向かった。途中5月の連休中に大雨で崩れて、沢山の登山客が足止めを食らった所を見た。車は通れるようにはなっているが、地肌がむき出しになっていて、そのすごさがまだ分かる。淀川登山口は標高1370mである。ここで入山料と山小屋使用料併せて一人2000円払った。強制ではないがたいていの人は文句を言わずに払う。7:50に登山を開始した。雨はしとしととかなりの本降りである。しばらく歩くとヤクスギらしい樹齢は500年以上の大木があった(左下)。幹の直径は2、5m以上有る。

ヒメシャラの赤い幹が目立つ。直径50cmくらいの大木である(右)。



10:00花の江河について。標高は1640m。河と言うよりは湿地である。湿地の植物で特に目立つ物はない(次ページ左上)。ここを過ぎて間もなく黒味岳分れを通り過ぎ、ロープで登る急坂がある。縦走コースでロープがあるのはここだけだったと思う。



標高が1700mを超えるとヤクシマダケが目立ってくる(左)。茎の直径は2~3mmで、葉は幅4~5mm、長さ5cmである。高さは50cm~100cmである。場所によっては登山道の足が見えないくらいにびっしりと生えている。

宮ノ浦岳の手前に栗生岳というのが有り、その手前に標識がある。後方に見えているのがげんこつ岩かもしれない（右上）。栗生岳に着いた（前ページ中）・

13:15に宮ノ浦岳の山頂に着いた。雨はまだ降っていたが小降りだったので、まずまずの写真が撮れた。同時に山頂に着いた人がいたので、全員の写真が撮れた。（下左）

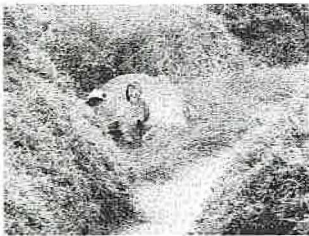


大急ぎで昼食を摂り、間もなく出かけた。

焼野三叉路を過ぎると雨もほとんど降らなくなり、遠くがかなり見え始めた（右上）。

ヤクシカが道の傍で休んでいた（下左）。人をあまり怖がらない。ホンシュウジカは体重約60kgだが、ヤクシカは30～50kgでやや小柄である。

大きな岩が出てくる。（下中）平石岩屋と思う。この反対側で記念写真を撮った（下右）。



ジャクシン岳（坊主岩）だろうか。写真のような岩が見える（右下）。

ヤクシマザルが見えた。普通のニホンザルと比べて毛色がやや濃い程度で、大きさもほぼ同じである（下中）。天気はかなり良くなって、森がきれいに見えだした（下右）。



環境学習講座

森林セラピー体験 こころとからだで感じよう

環境学習講座

こころとからだで森を感じてみよう

森林セラピー体験

こころとからだで森のよき・おしのかを体感する森林セラピー体験を通して、自然環境を保全する意識の高揚を図り、保全活動等への参加を促します。

場所：山口市徳地森林セラピー基地
山口徳地青少年自然の家

国立徳地青少年自然の家(山口市徳地船路)に
直接集合してください

令和2年

4月12日(日)
10:00~15:00

申込締切 3月25日(水)

午前 春の森で森林セラピー ～フィールド体験～

- 森林セラピーとは ～森林浴効果のお話～
- 健康チェック・経路ストレッチ
- 森林セラピーガイドツアー ～五感で感じる森のカ～
- 森林リラクゼーション

体力等に合わせて
グループ分けをします

午後 お灸で温活! めぐるカラダづくり

- 薬草のお話
- とっておきのツボ
- お灸体験

募集人員

一般県民(中学生以上)
30人程度

参加費

無料(弁当持参)

申込方法

- ・令和2年3月25日(水)までに、申込用紙(チラシ裏面)に必要事項を記入してFAXするか、同内容をハガキまたはメールに記載し、環境学習推進センターに送付してください。
- ・環境学習推進センターホームページ(「環境学習のひろば」で検索)の「新着情報」または「講座・イベント」から当該座名を選択し、申込フォームから直接申し込むこともできます。

その他

- 参加申込者が定員を超えた場合は抽選とします。
- 抽選結果は、申込者全員に郵送で通知します。
- 参加決定者には、日程等の詳細を別途通知します。

主催：(公財)山口県ひとづくり財団 環境学習推進センター

環境学習講座

秋吉台 春の植物観察会

【環境学習推進センター TEL 083-987-1110】

環境学習講座

秋吉台

令和2年5月10日(日)

申込締切 4月20日

春の植物観察会

春の自生植物と一緒に観察しませんか。

山口県秋吉台
青少年自然の家
自家用車で集合してください

「秋吉台の春の植物」
講師 中沢 妙子 氏

秋吉台に自生する
春の植物観察会

自然の家～真名ヶ岳周辺

集合 10:00 → 講義 → 昼食 → 植物観察 → 閉会 15:00

会場

- ・山口県秋吉台青少年自然の家
- ・秋吉台 真名ヶ岳周辺

参加対象

一般県民 30人程度
(原則中学生以上を対象)
(応募者多数の場合は抽選とします)

参加費

無料(昼食各自)



主催: 公益財団法人 山口県ひとづくり財団
県民学習部 環境学習推進センター

持続可能な地域づくり研修会

～地域や街づくりに関心のある方～

令和2年度
持続可能な地域づくり研修会

生きものの元気、子どもも元気、
漁師さんも元気な
中津の水辺環境を未来に

中津干潟の豊かな自然を次の世代に残すため、子ども達とともに干潟観察会や海辺の教室、海岸清掃などの活動を行っている大分県中津市のNPO法人の取組を紹介します。

令和2年
6月21日
13:00～15:00

申込締切 6月3日

山口県セミナーパーク
大研修室 **入場無料**

参加対象：一般県民100名

講師

あしかが ゆきこ
足利 由紀子氏



NPO法人水辺に遊ぶ会 理事長
長野市生まれ。
お茶の水女子大学 生物学科卒業。
児童書編集、広告デザイン業を経て
1991年、中津市に転居。
中津干潟でカブトガニの幼生に出
会った感動をきっかけに「水辺に遊
ぶ会」を設立

日本文理大学客員教授
環境省環境カウンセラー 同希少野生動植物種保存推進員
同自然公園指導員
NACSJ自然観察指導員 中津市教育委員 他

主催：(公財)山口県ひとづくり財団

後援：山口県教育委員会

環境学習推進センターホームページ
「環境学習のひろば」

お問い合わせ：(公財)山口県ひとづくり財団 環境学習推進センター

TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720 <https://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/index.php>



令和2年3月7日

第5支部の活動報告と今後の計画

第5支部長 植田高弘

1 報告

2月1日(土)、つのしま自然館において、打ち上げ貝の観察会が行われました。当日まで天気があまりよくなくて、連日のように強風注意報や波浪注意報発表されていました。また、今年に入って角島大橋の「歩行者・二輪車通行止め」が現在まで三度も発令されています。ですから、毎日毎日大浜海岸の方向を見てはうねりが少しでも和らぐようにと祈っておりました。



杉村先生の説明を聞く参加者

当日は祈りが通じたのかは分かりませんが、風は強かったものの前日までよりは若干うねりはおさまりました。29人の参加者たちは講師の杉村先生やスタッフ3人と冬の海岸に繰り出してユリヤガイやタカラガイを始めとして多くの貝を拾いました。昼食時、自然館からぜんざいか振舞われ冷えた体を暖めていました。

午後は集めた貝の同定作業を行いました。標本を一つ一つ見たり、杉村先生に訊ねたりしてラベルに貝の名前をていねいに書き込んでいました。

2 計画

(1) 蓋井島ヒゼンマユミ周辺の竹伐り・植生調査活動日について

4月4日(土) 5月9日(土) の2日間を予定しています。

作業内容は、4月は作業道の整備と植生調査の準備。5月は植生調査と作業道整備などを予定しています。

渡船時刻表 吉見港発 8:30 蓋井島発 15:50

(2) 角島 春の野草観察会

令和2年 5月16日(土) 9:30 ~ 12:00

(受付9:00~9:30) 集合場所 つのしま自然館

詳細については、4月中旬以降のホームページをご覧ください。

北浦自然観察会（第6支部） 2020年4月～8月までの行事の詳細

第6支部 永井要明

4月25日（土）、26日（日）岡山県毛無山と蒜山高原のサクラソウ、新見市の無明谷

5:30 萩市中央公園 6:30 津和野道の駅「和みの里」

バス定員有り 参加費 22,000円

5月9日（土）、10日（日）江舟岳のホンシャクナゲの観察会

8:00 萩市中央公園、8:20 川上公民館集合

参加費は無料（但し、他人の車に乗せてもらう人は運転手に燃料費500円を払う）

5月23日（土）、24日（日）愛媛県皿が峰、筒状山、ハシリドコロ、シロヤシオ等

5:00 萩市中央公園

バス定員有り 参加費 約18000円

6月7日（日）長門峡 滝橋～阿武大橋

8:00 萩市中央公園 8:50 長門峡竜宮淵駐車場

自家用車乗り合わせ 参加費 1000円

6月28日（日）萩市羽賀の台 シタキソウ、カミガモシダ

8:00 萩市中央公園

自家用車乗り合わせ 参加費 1000円

7月12日（日）萩市須佐黒崎 ヒメユリ、キキョウ

8:00 萩市中央公園 8:40 須佐駅

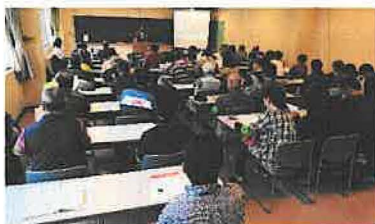
自家用車乗り合わせ 参加費 1500円

8月30日（日）広島県臥竜山、尾崎湿原 サギソウ、シラヒゲソウ等

7:00 萩市中央公園、7:50 道の駅「ゆとりパーク田万川」

自家用車乗り合わせ 参加費 2500円

フオトサロン 中国五県交流会 in 島根 ありがとう



開 会 式



植樹祭を学ぶ



研修：これからの指導員



懇 親 会 一



懇 親 会 二



トレッキング



いざ頂上へ！



やったー 感激！

令和2年度第2回役員会議事録

日 時 令和2年3月1日(日) 10:00~11:45

場 所 下松工業会館

・出席 9名(黒田、蔵田、植田、永井、平田、増野、松原、脇田、大田)

議 題 ①自然観察指導員講習会について

- ・期 日 9月19日(土)~20日(日)
- ・場 所 秋吉台青少年自然の家、秋吉台
- ・受講者定員 50名
- ・参 加 費 24,000円

②令和3年度総会について

- ・第4支部担当
- ・日 時 11月15日(日) 10:00~
- ・場 所 アクトビレッジおの
- ・内 容 総会、講話、野鳥観察会

③「みどりの風」編集会議

原稿締切 3月15日(日)

○その他

- ・第3支部行事案内と報告
- ・ストックの先につけるキャップの是非について

《 編 集 後 記 》

春号をお届けします。前号では、私のPCの不具合で会員の皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。表紙に会の愛称名を載せました。詳細は前号同封の定時総会の記録をご覧ください。

連日、新型コロナウイルスが報道されています。手洗い、うがい等にご気を付けましょう。

今月号は、前回載せることができなかった五県交流大会の写真などを掲載します。

報告文、ご意見、スcoop写真等ジャンルは問いません。どうか遠慮なさらずご投稿くださいますよう、お願い申し上げます。(U)

山口県自然観察指導員協議会会誌
＜みどりの風＞

■発行 山口県自然観察指導員協議会
会 長 大 田 和 彦
〒744-0043 下松市東陽2-2-5
Tel(Fax)0833-46-0103

■機関誌編集長 植 田 高 弘
〒759-6603 下関市安岡町8-14-21
Tel(Fax)083-258-2706